



## 一年を振り返って・・・『進級』の意味

この一年間は、昨年度に引き続き、コロナ禍による感染症対策のため、さまざまな学習活動や運動、そして、学校行事等に大きな制約を受けましたが、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただくことで、本校の教育活動を推進することができました。本当にありがとうございました。

さて、この一年間のお子様の成長ぶりはいかがだったでしょうか。身長や体重のように目に見える成長だけでなく、一年前の4月を思い起こすと、できるようになったことがたくさんあることにお気づきのことと思います。

学校においては、今年度も、昨年度以上に感染症対策という理由で、多くの学校行事や参観日などを延期したり、内容を縮小したりせざるを得ない日々が続きましたが、子どもたちは、その状況を悲観して「できないこと」を数えるのではなく、「どうすればできるのか?」と、常に「できること」を数えながら、「うつむくことなく、前向き」に日々を歩んで来ました。

「幸運は、不運の衣装をまとして現れる。」と言われます。コロナ禍という「不運」の中にも、「幸運」が隠されていて、子どもたちは、卑屈になることなく、常に、顔を上げ、前を見て、「ピンチをチャンスに」変えようとする気概を見せながら、一年間、成長してきました。その「前向きさ」「強さ」に大きな拍手を贈りたいと思います。

また、今日の修了式では、「進級」という言葉の意味についていっしょに考えました。「進級」とは、単に学年が一つ上がるというだけでなく、通知表をよく見て、学習面でも、生活面でも、今の学年をしっかりと振り返ることで、次の学年に向けての新たな目標や、努力する点をはっきりとさせることであると伝えていきます。

春休みは、2週間ほどの短い休みですが、今の学年の学習や生活を振り返り、その内容を確実に身につけておく大切な期間になります。ご家庭でも有意義な春休みになるよう声かけをお願いいたします。

校長 藤井 朗



卒業生を見習った奉仕活動（5年生）

5年生「学習発表会」



4年生「そうじの徹底」



3年生「七輪体験」



なかよし学級「春の遠足」



1年生「なわとび」

前向きに  
努力を重ねた  
「学校生活」



2年生「かけ算九九大会」